

恋のセンチメンタルロマンス	真夏の通り雨	まぶしい夏	ひと夏の恋
憧れのステキな人と 行ってみたいサントドミンゴ 焦げる太陽まぶしいまなざし 気持ちを抑えきれない	時計の針が12時回っても 君はまだここに 現れない 通り過ぎる人を横目で追って いつもの笑顔は見えない	環状線から港へ続いている 橋を渡って行けば海が見える 車のラジオにスイッチを入れて 流れる曲と口ずさむ懐かしいメロディー	タバコふかしてひとりベッドでもの想い 失くした恋を振り回っている チョッピリ淋しい気分になって
誘ってみようか誘惑 待ち伏せして悲劇のさよなら よくあることだと心配しないで 強がりいって 駆け出した	照りつける 日差しは 僕の 心を mm 突き抜ける 気まぐれな君はまるで 真夏の通り雨	少しセンチになって ため息ちよつとした 海の碧さはそのままに 僕を包む	木漏れ日差し込んだ爽やかな色の横の光 去りゆく夏の想い出映して にじんだ涙をそっとぬぐって
恋のセンチメンタルロマンス悲しいわけじゃないのに 何故か涙こぼれてしまうの ケ・セラ・セラ・セラ・セラになるようになるから せめて踊り明かして ケ・セラ・セラ	ダイヤル電話で君を呼んでも コールの音が聞こえるだけ つぶやく言葉は声にならない 額に汗がにじむ	汽笛を鳴らして 遠ざかる船に 手を振って見送る 少年の横顔 澄み渡る空と 潮風をうけて 海岸線を走る 夢を乗せて	キラメク夏の日にもう一度戻って はしぎ回った砂浜に足跡残して 君と肩寄せ合って波間に揺られてた あのトキメキの夏は今も胸を熱くしたまま
いつか出逢って二人で カリブの島巡って エメラルド色の海へ きっと夢のクルージングするから	浜辺から 南風 僕の 心を mm 駆け抜ける 気まぐれな君はまるで 真夏の通り雨	大きな地図広げて 見知らぬ街と出会う 不安と期待が胸を 熱くさせる	約束したね君と「このままずっと二人」 輝くあの時の君の面影は 僕の心に焼き付いたままに
気まぐれな恋だからだと ルージュで落書きしてる 慰めなていられないわと 悪いお酒を飲ませて	浜辺から 南風 僕の 心を mm 駆け抜ける 気まぐれな君はまるで 真夏の通り雨 真夏の通り雨	きっと明日も晴れる どんな時も笑顔で 手のひらかざして まぶしい夏が	キラメク夏の日にもう一度戻って 浜辺に寝転び二人で潮騒聴いて 砂に書いた名前は波に消されゆく あのトキメキの夏は今も胸を熱くしたまま
恋のセンチメンタルロマンス悲しいわけじゃないのに 何故か涙こぼれてしまうの ケ・セラ・セラ・セラ・セラになるようになるから せめて踊り明かして ケ・セラ・セラ	デジタル仕掛け	ミステリアス レイン	キラメク夏の日にもう一度戻って 水平線に叫んで声を枯らして 見つめ合った二人は言葉も失ってた あのトキメキの夏は今も胸を熱くしたまま あのトキメキの夏は今も胸を熱くしたまま
恋のセンチメンタルロマンス悲しいわけじゃないのに 何故か涙こぼれてしまうの ケ・セラ・セラ・セラ・セラになるようになるから せめて踊り明かして ケ・セラ・セラ	スマホゲームに夢中になっている 人気アプリで今日もご機嫌さ	雨はいつもミステリアス 都会の顔を変えて 恋人達が寄り添いあい 足早に通り過ぎる	情熱の女
二人のロマンス	インスタグラムをチラリと横目で見て いいね いいねとボタン押し続けてる～	どんな悲しみさえも 時が忘れさせてくれる いつも答えは見つからない そのままでいいから	甘い口づけ指からませて ふとめまいがした 抱きしめるその手 男の背中に 爪を立て見つめる
亜麻色の髪風になびかせ アクセル踏んで飛ばして バックミラーに映る景色 絵の具のように流れて	デジタル仕掛けの世の中じゃじゃじゃ YESかNOしか許されないんだ 人工知能に操られられれれれ 焦ってるだけで心は満たされない～	出逢った時から君に夢中 すべてが何も見えなくなる 好きだと言い出せなかったけど 君にはわかっていたはず	踊り明かしたその温もりが腕に伝わって シルクのドレス その長い髪が首に絡みついてく
ステキな音楽ビートに乗って 振り切るスピードと加速して	マッチングアプリで恋人を探してる 自撮りメイクで瞳もキラキラさ	愛はいつもドラマチックに 心に影を落として 過ぎ去った君の面影を 熱い胸の奥にしまって	どんな夢もバラ色に赤く染まってゆくよ 熱い吐息が 身体中に 情熱の女
たいくつな毎日がトキメキの日が変わって 体が熱くなる 若い二人のロマンス	インターネットは世界を駆け巡って フェイクニュースを撒き散らしている～	振り返ることもできずに 自分を閉ざしてきたけど やがて雨は虹と変わり 優しい陽射しが空から	タバコの煙線を描いて 夜に満たされている 鏡に向かい自分映して 髪を撫ぜ微笑む
色あせた心に光がシャワーのように降り注ぐ 立ち止まっただけでも始まらない クラクション鳴らし胸踊る	デジタル仕掛けの世の中じゃじゃじゃ YESかNOしか許されないんだ 人工知能に操られられれれれ 焦ってるだけで心は満たされない～	出逢った時から君に夢中 すべてが何も見えなくなる 好きだと言い出せなかったけど 君にはわかっていたはず	仮面被った二人の愛は 時の流れに 身を任せて 炎のように燃え尽きたい もう誰も止めはしない
ステキな会話君と始まる 振り切るスピードと加速して	デジタル仕掛けの世の中じゃじゃじゃ YESかNOしか許されないんだ 人工知能に操られられれれれ 焦ってるだけで心は満たされない～	タイムトラベラー	全てが夜に彩られ何も見えなくなるよ 愛の奴隷に変わってゆく 情熱の女
たいくつな毎日がトキメキの日が変わって 体が熱くなる 若い二人のロマンス	友達アプリに踊らされているから 西へ東とグルグル回されて	ファンタスティックな夜に君と船を浮かべて 果てしない夜の静寂に飛行を続ける	どんな夢もバラ色に赤く染まってゆくよ 熱い吐息が 身体中に 情熱の女
たいくつな毎日がトキメキの日が変わって 体が熱くなる 若い二人のロマンス	友人アプリに踊らされているから 西へ東とグルグル回されて	星のささやきが聴こえたら願い事叶えてと 想いが広がりはじめるとき空を超えて	全てが夜に彩られ何も見えなくなるよ 愛の奴隷に変わってゆく 情熱の女 情熱の女
雨のブルース	バーチャル世界は現実を飛び越えて ブラックホールに吸い込まれてゆく～	夢は 希望へと続く 未来 光の中へ	銀河鉄道の夜
もっと側に来ると 君の肩を抱き寄せても 何故か心が通じ合わない 言葉も失って	デジタル仕掛けの世の中じゃじゃじゃ YESかNOしか許されないんだ 人工知能に操られられれれれ 焦ってるだけで心は満たされない～	オーロラの橋を渡って天の川横切って 見えない引力の力に引き寄せられてく	西の空が 赤く燃えて 雲はオパール色 路地に咲いた銀のコスモス 天を仰いだまま あぁ一番星が煌めく 月は近づいてゆく あぁ銀河の腕君を抱きしめ 夢のランデブー
悪い夢を見ている そんな気持ちで振り返るけど いつもの君はもう見えない 戸惑いは隠せない	月の眠り姫	100億年の遥か彼方へ抱かれた二人は 遠い過去の話に耳を傾ける	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
真っ黒な雲が僕の心に 重くのしかかる 土砂降りの雨で 傷ついた心を洗い流してくれ	月の神話を 木馬にまたがって ピカピカと 光り出す 星の王子さま	夢は 希望へと続く 未来 光の中へ	地平線が 時を見送る 風は桔梗色 神秘奏でる 巡る天球 君からの贈り物 あぁ 指先が光なぞって 星に語り始める あぁ ヘルセウス アンドロメダの 愛の物語
そんな顔をしてても どうにもならない事もあるさ 友達が僕を慰めても 切なさが込み上げて	月の砂丘と 金の砂時計 サラサラと消えてゆく 月は三日月	夢は 希望へと続く 未来 光の中へ	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
真っ黒な雲が僕の心に 重くのしかかる 土砂降りの雨で 傷ついた心を洗い流してくれ	夢はきっと叶う 想い続ければ 愛はきっと届く それが願いならば	聖夜	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
真っ黒な雲が僕の心に 重くのしかかる 土砂降りの雨で 傷ついた心を洗い流してくれ	月の涙に ゆりかご浮かべて ユラユラと 抱かれて 月の眠り姫	メリークリスマス 天仰いで 舞い降りる粉雪 街中を包んで	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
夢なら覚めないで	夢はきっと叶う 想い続ければ 愛はきっと届く それが願いならば	メリークリスマス 祈り続けて 静寂のこの夜 奇跡起こして	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
もっと もっと 側にいて そっと そっと 抱きしめて	月の涙に ゆりかご浮かべて ユラユラと 抱かれて	世界中の人に愛を降りそそいで その優しいまなざしで見守ってくれる光のマリア	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
夢なら覚めないで ここにいて 愛の言葉を あなたに囁いて	夢はきっと叶う 想い続ければ 愛はきっと届く それが願いならば	メリークリスマス 耳すまして ささやく天使たちの 歌声がきこえる	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
もっと もっと 側にいて	月の涙に ゆりかご浮かべて ユラユラと 抱かれて	メリークリスマス 耳すまして ささやく天使たちの 歌声がきこえる	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
夢なら覚めないで ここにいて 愛の言葉を あなたに囁いて	夢はきっと叶う 想い続ければ 愛はきっと届く それが願いならば	メリークリスマス 耳すまして ささやく天使たちの 歌声がきこえる	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも
もっと もっと 側にいて ずっと ずっと 抱きしめて	夢はきっと叶う 想い続ければ 愛はきっと届く それが願いならば	メリークリスマス 耳すまして ささやく天使たちの 歌声がきこえる	君と出会った 本当の意味を知る どんな時でも 君を守ってあげたいと いつも

Across The Universe

*お気づきな点がございましたら下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

planet-love@sg.starcat.ne.jp

All songs : Morihito Ito



歌声がきこえる 歌声がきこえる